

平成 22 年度小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会
第 2 回利用専門部会 議事概要

平成 23 年 3 月 9 日（水） 14 : 15～15:15
小笠原村地域福祉センター 2 階会議室

1 オガサワラノスリのモニタリング結果について

世界自然遺産に登録された場合は、利用頻度が増加する可能性があるので、来年度も月 1 回のモニタリングを実施する。

2 聳島ルートの試行状況について

オガサワラスナハキバチの営巣地の調査が行われていないことなどから、試行期間を 9 月まで延長する。

・ 指定ルートに向かうため船を着けるなどによるアホウドリへの影響は全くないとは言えないのではないか。

現状は、アホウドリは戻ってくる傾向にあり、今の利用範囲であれば、大きな影響はないのではないか。今後、アホウドリに影響するようなことがあれば情報は共有したい。

・ 試行状況を客観的に判断できる第三者が必要ではないか。

・ モニタリングポイントについては、表土の変化が利用によるものかどうか確認するため、対照区を設けてはどうか。

3 その他

・ オガサワラカワラヒワは母島列島にしかいない希少な鳥なので、もう少し予算を割いて調査をしてもらいたい。